

平成 28 年 10 月

保護者様

ヤンゴン日本人学校

校長 萩野 幹夫

新校舎増築についてのお知らせ

在ミャンマー日本国大使館附属ヤンゴン日本人学校は、昭和 39 年(1964)6 月海外で二番目に開校した創立 52 年の伝統ある在外教育施設です。この間、文科省・在ミャンマー日本国大使館並びにヤンゴン日本人会、ヤンゴン日本人商工会議所等々の絶大なるご支援により、歴代の教職員・保護者の並々ならぬ尽力により日本と同等の教育課程を実施することができました。特に教育環境につきましては、3 度の学校移転や計画的な改修作業に見られますように、関係者のよりよい環境の中で子どもたちを学ばせてあげたいという思いで整備が続けられてきました。

平成 2 年(1990)に現在の校舎敷地に移転し、当初は今の B 棟と同じ英国式の建物がもう一棟あり、校舎として使っていました。また、その年に現在の体育館も完成しました。

平成 10 年(1998)に木造の C 棟が完成し、現在の校長室・理科室・PTA 室として利用しています。

平成 16 年(2004)と平成 22 (2010) 年の 2 度に亘って、耐震性を考慮した現在の A 棟校舎を新築・増築し、今日に至りました。

さて、平成 25～27 年度(2013～2015)は児童生徒数が倍増する予測がされたため、平成 27 年 6 月テニスコート跡に新校舎を建設しました。新校舎一階は、普通教室 4 部屋、美術・家庭科室 1 部屋、二階は、アセンブリー(日本の体育館仕様)として有効に活用させていただいています。

児童生徒数の推移(4 月の在籍人数)は、

- ・平成 25 年度 84 名
- ・平成 26 年度 116 名
- ・平成 27 年度 159 名
- ・平成 28 年度 179 名 (10 月 1 日は現在 190 名) です。

学校側では、昨年度より児童生徒数の状況について学校運営委員会でお話し、その動向を毎月注視しながら今後の校舎関係の話し合いをしてまいりました。

学校運営委員会では、次年度の対応として、プレハブ教室を設置し 35 人が入れる理科教室の確保(現在 18 人教室)や幼稚部 3 クラスを 2 クラスにするなど、小・中学生の入学希望者の全員が入学できるような対応を進めていただいています。

3 年後に予想される在籍数は 300 名規模です。今後をみすえた場合、企業関係者の皆様のご子の教育について安心してご家族で来緬していただくには、小学部の各学年は二学級の教室が必要となります。

現在、学校運営委員長を中心に校舎建設委員会が立ち上げられました。

保護者の皆様には日本人学校の現状を理解していただき、今後のご協力をお願い申し上げます。